

- 1 南海トラフ巨大地震・警戒・・・震度5弱以上の揺れがある場合  
 ・・・震度6弱以上の揺れがある場合（太平洋沿岸部は可能性大）
- 2 美濃加茂市の震度に応じて下記のような行動が原則（南海トラフ地震に限らず対応）  
 市総合防災計画では震度4以上で防災無線、震度5弱以上で第1次非常体制となり市災害対策本部設置

		当市が震度4以上	当市が震度5弱以上
授業日	登下校時	【児童】 自宅又は学校のうち安全で近い方へ避難 【教職員】 安否確認 メール配信・電話等 【保護者】 状況により引き渡し下校	【児童】 自宅又は学校のうち安全で近い方へ避難(避難場所の場合も) 【教職員】 安否確認（メール配信・電話等） 【保護者】 児童が家に引き返した場合は、保護者は学校へ連絡する 登校した場合は、引き渡し下校
	在校時	【児童】 状況により引き渡し下校 【保護者】 状況により引き渡し下校準備	【児童】 自らの命を守る行動と安全確保 【教職員】 児童の避難誘導と学校対応の連絡(引き渡し下校・待機) 【保護者】 引き渡し下校のため学校へ ※状況によっては徒歩・自転車等での迎え
	在宅時	【児童】 状況により登校を見合わせる 【教職員】 通学路の安全確認	【児童】 自らの命を守る行動と安全確保・自宅待機・避難行動 ※状況によっては避難場所に避難 【教職員】 学校対応の連絡 【保護者】 児童の安否確認、情報収集と避難行動
休業日	在宅時	【児童】 安全確認 【保護者】 家庭で安否確認	【児童】 自らの命を守る行動と安全確保 ※状況によっては避難場所に避難 【保護者】 家族の安否確認、情報収集と避難行動

- 3 【重要】 以下のことについて家庭でお子さんと話し合って決めておいてください。  
 例1 家(学校)の近くにいるが登下校中の道が、がけ崩れて通れない場合どうするか→家庭で相談を  
 例2 家族が出かけており、帰宅しても子供だけで長時間いることになる場合どうするか →家庭で相談を  
 例3 自宅も学校も危険な場合・家族と連絡が取れない場合などの集合場所は●●●とする →家庭で相談を

- 4 【注意事項】 震度5弱以上の揺れがあった場合  
 【1】原則として電話での学校への問い合わせはご遠慮願います。(非常時対応連絡に支障がでるため)  
 【2】地震の情報発表に伴い、電話や緊急メールがつながりにくくなり、保護者の方に連絡が取れなくなることが予想されます。児童が授業中の場合は、学校から連絡がなくても「引き渡し下校の準備行動」ととってください。(※準備行動とは、児童の迎えができるよう連絡調整すること)  
 【3】学校からの連絡手段として、優先順位【①メール配信 ②学校HPへの掲載 ③個人の家庭電話の順】としています。